令和３年度　未来へつながる学校づくり事業のまとめ

健やかな心とからだを育む学校づくり

小田原市立富水小学校

１　事業の目的

地域・保護者・幼保・中学校との一体教育を推進し、道徳教育・安全教育の充実、確かな学力の向上、児童の自主的な活動の推進に努めます。また、小田原の未来を担い、たくましく生き抜く健やかな心と体をもった児童の育成をめざします。

「未来を笑顔で生きぬく富水っ子の育成」を学校教育目標とし、自分に自信を持ち、自分のよさを生かし、望ましいコミュニケーションをとりながら生きていく力を身につけるとともに、地域に愛され、地域を愛することができる児童の育成をめざします。

２　事業の内容

○確かな学力の向上
（１）「学びに向かう力」を高めるための支援を考える
（２）体験活動の充実

○健やかな児童の育成
（１）道徳教育の推進
（２）児童の自主的な活動の推進
（３）健やかな心とからだづくりの推進

確かな学力の向上

◆児童自らが学ぼうとする力を高め、友だちと豊かに関わりながら授業を行うことができるような授業改善をめざしました。学力向上につながるようなICTの活用推進にも取り組みました。
◆体験活動を充実させるために、ボランティアの方にご協力をいただきました。

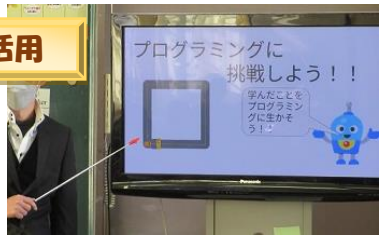
気付き合い深め合う学習

話す人の方を見てうなずきながら…

板書の工夫や資料の活用

ICTの活用

代表委員会でも学習用端末を活用して児童会スローガンを決めました。



三角形のなかまわけ

体験活動の充実

地域の方に「米作りの苦労や工夫」についてリモートで講話をしていただきました。

テレビ放送で読み聞かせをしていただきました。

健やかな児童の育成

◆望ましい人間関係を築いていくために、Q-U や毎月の児童アンケート等を活用して児童理解に努めるとともに、様々な教育活動において道徳的価値を意識した活動を心がけてきました。
◆「自律し、協調し、思いやる集団づくり」のために、児童主体の活動を推進してきました。心身のバランスを保ち、人間的成熟・人と関わる力の向上・豊かな体力の向上を内包した教育活動を重視し、健やかな心と体づくりに取り組みました。

道徳教育の推進

ネームプレートを使って自分の考えを表現

すこやかな心と体

ブラインドサッカーに挑戦！

児童主体の活動　～学級をこえて、学年をこえて～

富水っ子班活動では「震源地」「絵しりとり」など子どもたちで話し合って遊びを決めて楽しみました。

いつもお世話になっている校務員さん、調理員さんに「ありがとう」の気持ちを伝えました。

ドッジボール大会では、クラスで決めためあてに向かって頑張りました。

環境整備

◆健やかな心と体をもった児童の育成、そして安心・安全な学校生活のためには、環境整備が欠かせません。保護者や地域の方に様々な面において力を貸していただきました。

花壇ボランティア

季節の変化に合わせて様々な花を植えてくださっています。おかげで学校が明るくなりました。

お掃除ボランティア

生け花ボランティア

感染症対策として、子どもたちの清掃活動を縮小しています。そのため、PTA の方々が定期的に校内の様々な場所を掃除してくださっています。

3　成果

感染症対策のため様々な活動に制約がある中で、児童の意欲や自発性を大切にしながら、学ぶ喜びを実感させていくことができました。教師自身も「笑顔」を大切に特色のある教育活動を展開するために、工夫しながら考え、実践していく意識が高まったと感じています。

今後も学校運営協議会を核として、さらに地域と協働した学校づくりをめざし、児童が生き生きと学びに向かおうとする素地を身につけていけるよう努めていきたいと考えています。